

高齢者の生活・介護等に関する県民調査 調査票

ご協力のお願い

日頃より、奈良県政へのご協力をいただき、ありがとうございます。

このたび、奈良県におきまして、県民の高齢期の生活、介護等に関する意識や実態を正確に把握し、県の高齢者福祉施策に反映させるための調査を実施します。調査の結果は、県高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業支援計画の策定や高齢者が住み慣れた自宅で安心して暮らし続けるためのしくみである「地域包括ケアシステム」の実現など、今後の高齢者福祉行政を展開する上での基礎資料として活用させていただきます。調査票は、かかりつけ医、地域医療の観点から奈良県内に存在する診療所の医師に送付させていただいております。

ご回答は無記名でお願いいたします。ご回答いただきました内容は、この調査のみに使用します。個人情報に他に漏れるなど、ご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、同封の返信用封筒にて**令和4年9月30日（金）まで**に切手を貼らずにご返送ください。アンケートにご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

奈良県 福祉医療部 医療・介護保険局 介護保険課長

ご回答に当たってのお願い

1. 令和4年9月1日現在の状況についてご回答ください。
2. 回答方法は、あてはまる選択肢に○印をつけたり、回答欄に数字をご記入いただいたりするものです。選択肢「その他」を選ばれた場合は、() 内に具体的な内容をご記入ください。
3. 設問によっては、○印をつける個数や回答していただく方が限られるものがありますので、設問の指示に従ってご回答願います。
4. ご回答が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手はいりません）をご利用いただき、**令和4年9月30日（金）まで**にお近くの郵便ポストに投函してください。
5. この調査は「無記名方式」ですので、調査票や返信用封筒にあなたのお名前や貴診療所のお名前、ご住所は記入されないようお願いいたします。

【調査に関するお問合せ先】

奈良県福祉医療部医療・介護保険局
介護保険課介護計画係
〒630-8501 奈良市登大路町30番地
電話 0742-27-8524

1. 在宅医療の実施状況についておたずねします。

問1 貴診療所では、訪問診療や往診などの在宅医療を行っていますか。(どちらかに○)

- 1 行っている
- 2 行っていない

問6へお進みください

問1で選択肢「1」とお答えの診療所にお聞きします。

問2 貴診療所で在宅医療を行っている患者の人数は何人ですか。(○は1つ)

- 1 0人
- 2 1～4人
- 3 5～9人
- 4 10～14人
- 5 15～19人
- 6 20～24人
- 7 25～29人
- 8 30人以上

問3 貴診療所で在宅医療を行っている患者の傷病等の種類はどのようなものがありますか。(○はいくつでも)

- 1 脳血管疾患(脳卒中)
- 2 脳血管疾患(脳卒中)の後遺症
- 3 心疾患(心臓病)
- 4 悪性新生物(がん)
- 5 呼吸器疾患
- 6 関節疾患
- 7 難病(パーキンソン症候群を除く)
- 8 パーキンソン症候群
- 9 精神疾患(認知症を除く)
- 10 認知症
- 11 糖尿病
- 12 視覚・聴覚障害
- 13 骨折・転倒
- 14 骨髄損傷
- 15 高齢による衰弱
- 16 重症心身障害
- 17 その他()
- 18 傷病名不明

問4 貴診療所が在宅医療を行われる上でどのような苦勞がありますか。(○は主なもの5つまで)

- 1 患者や家族の理解・協力を得ること
- 2 24時間訪問診療可能なスタッフの確保
- 3 緊急時に入院又は搬送できる医療機関との連携体制の確保
- 4 緊急時に連絡を受けられる診療所の体制の確保
- 5 夜間等緊急時に関係機関と連絡が取れない
- 6 診療所職員の在宅医療に関する知識や技術の向上
- 7 介護関係者との連携・連絡体制の構築
- 8 介護関係者の在宅医療に関する知識や理解の向上
- 9 在宅医療に必要な医療材料・機器の確保
- 10 在宅医療を希望する患者が多すぎて手が回らない
- 11 診療報酬が見合わない
- 12 移動時間がかかり非効率
- 13 プライベートの時間の確保が難しい
- 14 外来時間内の往診依頼の対応
- 15 その他()
- 16 特にない

問5 今後、在宅医療・在宅ケアを促進するために、どのような取り組みが重要だと考えていますか。(○は主なもの5つまで)

- 1 複数の医療機関が在宅医療を分担しあう体制や情報提供手段を構築する
- 2 緊急時の受け入れ等、専門医療機関との連携体制を構築する
- 3 在宅生活を支える訪問看護など介護保険サービスの充実を図る
- 4 地域の診療所全体の在宅医療に関する知識や技術の向上を図る
- 5 地域ケア会議やサービス担当者会議等に参加し、介護との連携体制を構築する
- 6 在宅医療の重要性を地域の医療機関に啓発・普及する
- 7 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の普及を図る
- 8 介護する家族に対する支援の充実を図る
- 9 地域住民への在宅医療に関する普及・啓発を行う
- 10 診療報酬を改定する
- 11 情報共有ツールの活用
- 12 その他()
- 13 特にない

問1で選択肢「2」とお答えの診療所にお聞きします。

問6 貴診療所が訪問診療や往診など在宅医療を行っていない理由は何ですか。(○は主なもの3つまで)

- 1 対象となる患者がいらないから
- 2 対象となる患者はいるが、住まいが遠くて対応が困難だから
- 3 昼間・夜間の緊急時に対応できる医師の体制を確保できないから
- 4 昼間・夜間の緊急時に対応できる職員等の体制を確保できないから
- 5 緊急時に連携ができる専門医療機関がないから
- 6 介護等他分野との連携ができないから
- 7 看取りの対応が困難だから
- 8 採算があわないから
- 9 自分の時間を持ってないから
- 10 その他 ()

問7 今後とも高齢者の医療ニーズの高まりが見込まれますが、貴診療所では在宅医療を行う予定や意思がありますか。(どちらかに○)

- 1 ある
- 2 ない

問7で選択肢「2」とお答えの診療所にお聞きします。

問8 貴診療所が今後とも在宅医療を行う予定や意思がない理由は何ですか。(○は主なもの3つまで)

- 1 診療科が在宅医療になじまないから
- 2 医師や職員が高齢で、対応に不安があるから
- 3 時間・余裕がないから
- 4 在宅医療は時間的に拘束時間が長くなるから
- 5 十分な職員体制を確保できないから
- 6 対象となる患者がいらないから
- 7 在宅医療を行うつもりがそもそもないから
- 8 時間外の対応が困難だから
- 9 在宅医療に必要な知識や技術が十分でないから
- 10 在宅医療に必要な医療材料や機器が十分でないから
- 11 採算があわないから
- 12 その他 ()

問9 新型コロナウイルス感染症拡大状況において、在宅医療を行う上での問題や課題についてお答えください。(○は主なもの1つ)

- 1 マスクなどの衛生用品の確保
- 2 診療先での感染症対策の徹底
- 3 外来患者の増加などによる人材不足
- 4 感染症についての知識や情報の不足
- 5 感染が疑われる方への対応(具体的内容))
- 6 その他 ()
- 7 特にない

問10 現在、貴診療所でオンライン診療を導入している患者数は毎月約何名ですか。(○は1つ)

- 1 5名以下
- 2 5名～10名程度
- 3 10名～20名程度
- 4 20名～50名程度
- 5 50名以上
- 6 オンライン診療を導入していない

2. 認知症患者への対応についておたずねします。

問11 貴診療所では、認知症に関する診断・治療を行っていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 診断・治療ともに行っている | 2 診断は行っている |
| 3 治療は行っている | 4 いずれも行っていない |

問12 あなたは、かかりつけ医認知症対応力向上研修を受講したことがありますか。(どちらかに○)

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問13 貴診療所では、認知症の患者やその家族等が来院された時、どのように対応していますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1 相談や診療に応じている | 2 相談や診療には応じていない |
| 3 認知症の患者やその家族が来院した事例がない | |

問14 あなたは、サポート医に治療に対する助言等を求め、認知症患者に対して療養計画に基づく治療を行う、「認知症療養指導料」を受けたことがありますか。(どちらかに○)

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問15 あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1 知らない・聞いたことがない | 2 詳しくは知らないが聞いたことはある |
| 3 後見人ができること、できないことが何かを知っている | 4 成年後見制度利用が必要と思われるケースが分かる |
| 5 成年後見制度の利用についての相談窓口を知っている | 6 市町村長による申立てが可能であることを知っている |
| 7 任意後見制度があることを知っている | 8 日常生活自立支援事業があることを知っている |

3. 介護保険に係る事業の実施状況についておたずねします。

問16 貴診療所には介護保険制度に係る有資格者が在籍していますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1 介護支援専門員 | 2 介護福祉士 | 3 介護福祉士実務者研修 |
| 4 社会福祉士 | 5 保健師 | 6 介護職員基礎研修 |
| 7 ヘルパー1級 | 8 ヘルパー2級 | 9 介護職員初任者研修 |
| 10 理学療法士 | 11 作業療法士 | 12 言語聴覚士 |
| 13 その他 () | 14 有資格者はいない | |

問17 貴診療所、または、併設している事業所において提供している介護保険サービスの種類はどれですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|--------------------------------|------------------------|----------------|
| 1 居宅介護支援 | 2 訪問介護 | 3 訪問入浴介護 |
| 4 訪問看護 | 5 訪問リハビリテーション | 6 居宅療養管理指導 |
| 7 通所介護 | 8 通所リハビリテーション | 9 短期入所生活介護 |
| 10 短期入所療養介護 | 11 特定施設入居者生活介護 | 12 福祉用具貸与 |
| 13 特定福祉用具販売 | 14 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | |
| 15 夜間対応型訪問介護 | 16 認知症対応型通所介護 | 17 小規模多機能型居宅介護 |
| 18 認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム) | 19 地域密着型特定施設入居者生活介護 | |
| 20 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | 21 看護小規模多機能型居宅介護 | |
| 22 地域密着型通所介護 | 23 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) | |
| 24 介護老人保健施設 | 25 介護療養型医療施設 | 26 介護医療院 |
| 27 提供していない | | |

4. 関係機関との連携状況についておたずねします。

問18 あなたが関わる高齢者の情報について、次にあげる関係機関、職種との連携はどの程度重要と考えていますか。また、現在の連携はどのような状況ですか。(以下の①～⑪それぞれについて、○は1～4のいずれか1つ)

	連 携 の 重 要 度				連 携 状 況			
	重要である	どちらかといえば重要である	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	よくとれている	ある程度とれている	あまりとれていない	ほとんどとれていない
①他の医療機関	1	2	3	4	1	2	3	4
②歯科医師	1	2	3	4	1	2	3	4
③薬剤師	1	2	3	4	1	2	3	4
④理学療法士等のリハビリ職	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤医療ソーシャルワーカー	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥地域包括支援センター	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦居宅介護支援事業所等	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧介護保険外サービス事業者	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨市町村の介護保険担当者等	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩民生委員、福祉協力員など	1	2	3	4	1	2	3	4
⑪社会福祉協議会	1	2	3	4	1	2	3	4

問19 医療関係者と介護従事者等が多職種連携を進める上で、どのようなことについて課題があるとお考えですか。(○は主なもの1つ)

1 具体的な連携方法が分からない	2 異職種間での意思疎通が難しい
3 連携するためのツール（ICTを活用したシステム等）がない	
4 所属している組織の理解が得られない	
5 その他（ ）	

5. 地域包括ケアの推進体制についておたずねします。

問20 「地域包括ケアシステム」について知っていますか。(○は1つ)

※地域包括ケアシステムとは、介護や支援が必要になっても、高齢者が尊厳を保ちながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、住まい、医療、介護、予防、生活支援が、日常生活の場で一体的に提供できる地域での体制のことをいいます。

1 知っており、構築に向けてできることは協力したい	2 知っている
3 言葉は聞いたことはあるが詳しくはわからない	4 知らない・聞いたことがない
5 その他（ ）	

問21 貴診療所では、福祉・介護部門（行政や地域包括支援センター、社会福祉協議会、他の介護サービス事業所等）とどのような連携をとっていますか。（○はいくつでも）

- 1 患者の健康管理や処置について助言・情報提供を行っている
- 2 在宅医療の提供に関する情報提供を行っている
- 3 症状急変時の受入を行っている
- 4 介護施設等への研修講師等の派遣を行っている
- 5 市町村もしくは地域包括支援センターの開催する地域ケア会議に参加している
- 6 ケースカンファレンスに参加している
- 7 その他（)
- 8 特段の連携を行っていない

問22 患者本人のケアマネジャーとの連携や情報共有の状況はいかがですか。（どちらかに○）

- 1 必ずケアマネジャーと連携ができている
- 2 どちらかといえば、ケアマネジャーと連携ができている
- 3 どちらかといえば、ケアマネジャーと連携できていない
- 4 全くケアマネジャーと連携できていない

問22で選択肢「3」「4」とお答えの診療所にお聞きします。

問23 貴診療所においてケアマネジャーとの連携ができていない理由は何ですか。（○は主なもの1つ）

- 1 ケアマネジャーから連絡に関する依頼がない
- 2 多忙で連携のための時間が取れない
- 3 報酬への反映が不十分で費用が賄われない
- 4 勤務日や時間が一致しない
- 5 連携の必要性を感じていない
- 6 その他（)

問24 貴診療所では、ケアプラン作成にあたって開催される「サービス担当者会議」に参加を要請され、参加したことがありますか。（○は1つ）

- 1 要請され、都合がつけば参加している
- 2 要請されたが、参加していない
- 3 現在参加していないが、過去には参加したことがある
- 4 要請されていないし、参加していない

問25 患者のケアマネジャーや利用している介護サービス事業者から提供を受ける必要がある情報にはどのようなものがありますか。（○は主なもの3つまで）

- 1 患者の障害や過去の病歴に関する情報
- 2 患者の普段の食生活や健康に関する情報
- 3 患者の家族や周囲の人から得られる支援に関する情報
- 4 患者の経済状態に関する情報
- 5 患者が過去に起こした問題行動についての情報
- 6 その他（)
- 7 特になし

問26 高齢者支援において、現在、連携ができています機関・窓口はどこですか。(○は主なもの5つまで)

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| 1 所在市町村の高齢福祉部門 | 2 所在市町村の高齢福祉以外の福祉部門(障害、生活保護等) |
| 3 所在市町村の福祉以外の部門(公営住宅等) | 4 他市町村の高齢福祉部門 |
| 5 他市町村の高齢福祉以外の福祉部門 | 6 他市町村の福祉以外の部門 |
| 7 地域包括支援センター | 8 介護サービス事業所 |
| 9 介護保険施設 | 10 居宅介護支援事業所・ケアマネジャー |
| 11 在宅介護支援センター | 12 社会福祉協議会 |
| 13 他の医療機関 | 14 NPO・ボランティア等の民間機関 |
| 15 民生委員 | 16 福祉委員 |
| 17 民間事業者(郵便局、新聞、宅配業者等) | 18 警察 |
| 19 その他() | 20 特にな |

問27 高齢者支援において、現在ではできていないが、今後、連携を強めなければならないと考えている機関・窓口はどこですか。(○は主なもの5つまで)

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| 1 所在市町村の高齢福祉部門 | 2 所在市町村の高齢福祉以外の福祉部門(障害、生活保護等) |
| 3 所在市町村の福祉以外の部門(公営住宅等) | 4 他市町村の高齢福祉部門 |
| 5 他市町村の高齢福祉以外の福祉部門 | 6 他市町村の福祉以外の部門 |
| 7 地域包括支援センター | 8 介護サービス事業所 |
| 9 介護保険施設 | 10 居宅介護支援事業所・ケアマネジャー |
| 11 在宅介護支援センター | 12 社会福祉協議会 |
| 13 他の医療機関 | 14 NPO・ボランティア等の民間機関 |
| 15 民生委員 | 16 福祉委員 |
| 17 民間事業者(郵便局、新聞、宅配業者等) | 18 警察 |
| 19 その他() | 20 特にな |

問28 ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組状況についてお答えください。(○は1つ)

※ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは、医療従事者から適切な情報提供と説明がなされたうえで、人生の最終段階の医療やケアについて、本人が家族や医療・介護従事者等信頼できる周囲の関係者と事前に繰り返し話し合うプロセスのことをいいます。

- | |
|-----------------------------|
| 1 実践している |
| 2 実践したことがない(実践する機会がない場合も含む) |
| 3 聞いたことはあるが、詳しくは知らない |
| 4 知らない・聞いたことがない |

問28で選択肢「1」と回答した方にお聞きします。

問29 ACPを実践する上で課題となっていることは何ですか。(○は主なものを1つ)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 本人や家族の意向の把握 | 2 家族へのケア・フォロー |
| 3 関係する他施設との連携(情報の共有等) | 4 具体的な方法(マニュアル等)の整備 |
| 5 その他() | 6 特にな |

問30 ACPを実践するために、どんなツールが活用できると思いますか。(○は主なものを1つ)

- | | |
|------------|------------------|
| 1 パンフレット | 2 書き込み式エンディングノート |
| 3 取組に係る講習会 | 4 具体的な参考事例集 |
| 5 その他() | 6 特にな |

6. 貴診療所のことについておたずねします。

問31 貴診療所の所在市町村はどこですか。(○は1つ)

- | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1 奈良市 | 2 大和高田市 | 3 大和郡山市 | 4 天理市 | 5 橿原市 | 6 桜井市 |
| 7 五條市 | 8 御所市 | 9 生駒市 | 10 香芝市 | 11 葛城市 | 12 宇陀市 |
| 13 山添村 | 14 平群町 | 15 三郷町 | 16 斑鳩町 | 17 安堵町 | 18 川西町 |
| 19 三宅町 | 20 田原本町 | 21 曽爾村 | 22 御杖村 | 23 高取町 | 24 明日香村 |
| 25 上牧町 | 26 王寺町 | 27 広陵町 | 28 河合町 | 29 吉野町 | 30 大淀町 |
| 31 下市町 | 32 黒滝村 | 33 天川村 | 34 野迫川村 | 35 十津川村 | 36 下北山村 |
| 37 上北山村 | 38 川上村 | 39 東吉野村 | | | |

問32 貴診療所の標榜診療科目はどれですか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|----------|----------|---------|------------|
| 1 内科 | 2 心療内科 | 3 呼吸器科 | 4 消化器科・胃腸科 |
| 5 アレルギー科 | 6 リウマチ科 | 7 精神科 | 8 神経科 |
| 9 神経内科 | 10 外科 | 11 整形外科 | 12 形成外科 |
| 13 眼科 | 14 耳鼻咽喉科 | 15 皮膚科 | 16 泌尿器科 |
| 17 その他 (| | |) |

問33 貴診療所は在宅療養支援診療所ですか。(○は1つ)

- | |
|---------------------------|
| 1 在宅療養支援診療所ではない |
| 2 在宅療養支援診療所（機能強化型である）である |
| 3 在宅療養支援診療所（機能強化型ではない）である |

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手はいりません）をご利用いただき、令和4年9月30日（金）までにお近くの郵便ポストに投函してください。